

オンテリッシュ マテラ 大和合金に在庫販売譲渡 ベリリウム銅線・棒・管

米ベリリウム銅メーカー、マテリオンの日本法人であるマテリオンブラッシュジャパン

(本社) 東京都千代田区、佐藤一彦社長は、条以外のベリリウム銅材料(線・棒・管)の

在庫販売事業を特殊銅合金メーカーの大和合金(本社) 東京都板橋区、萩野源次郎社長)に譲渡する。マテリオンブラッシュジャパンは在庫・加工拠点の深谷工場(埼玉県)の閉鎖を決定しており、在庫販売を大和合金に引き継いでもらうことで需要家への供給が途切れないようにする。

マテリオンブラッシュジャパンは親会社が製造したベリリウム銅の条やバルク材、そのほかのベリリウム系材料や高強度の銅-ニッケル-錫合金箔などを日本で販売。グループが世界的に流通網の見直しによるコスト低減

を進める中、5月末をめどに深谷工場を閉鎖することを決めた。ある程度まとまった数量のひも付き取引が多い条と異なり、多品種・小ロットの線、棒、管は国内在庫を持つ必要がある。深谷を閉鎖すると販売継続が難しくなるため、長年の取引関係にある大和合金との間で条以外の在庫販売事業の譲渡につい

て交渉してきた。両社はこのほど合意し、今月から在庫を大和合金三芳工場(埼玉県)に移し始める。佐藤社長は、「(条以外の) 販売先への影響はほとんどない」と強調。引き継ぐ萩野社長は、「既存ユーザーに迷惑が掛からないように努めていきたい」と話す。マテリオンブラッシュジャパンは、条に関しては基本的に米国工場から需要家への直送に切り替える。ただ、一部の材料は外注スリット加工業者に在庫してもらおう。